

2004年4月23日



第6期中間決算説明会

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

この資料での数値は、特に指定がない限りすべて2004年2月29日現在です。

Copyright ©Future Venture Capital Co. Ltd.

2004 All Right Reserved

1. フューチャーベンチャーキャピタルについて

FVCの概要



ヘラクレス上場
コード8462

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(英語表記: Future Venture Capital Co., Ltd.)

(2004年4月21日現在)

資本金	11億3625万円	役員	代表取締役社長 川分陽二 専務取締役 大橋克己
設立年月	1998年9月	取締役	取締役 木村美都 取締役 城下悦夫
業務内容	ベンチャーキャピタル業務	取締役	取締役 金田泰明(非常勤)
従業員数	38名	監査役	監査役 島野伊蔵 監査役 岡部陽二(非常勤) 監査役 小川忠久(非常勤)

代表取締役社長

川分陽二

1953年5月生まれ。滋賀県彦根市出身。京都大学法学部卒業。

1977年、住友銀行(現・三井住友銀行)入行。個人、中小・中堅企業から大企業まで、新規開拓及び取引関係の強化業務を担当し、国際金融法人部を経て、国際業務部所属時、中東のアブタビ国立銀行へ派遣され海外勤務も経験。

1989年、日本アセアン投資(現・日本アジア投資株)入社。投資部長、大阪支店長、審査部長、業務推進部長等を経て1997年6月取締役に就任。大阪支店長在任中(1992年より4年間)に、関西圏の未公開企業28社に対して約30億円を投資し、9社が公開・上場を達成。

1998年9月、フューチャーベンチャーキャピタル(株)を設立し代表取締役に就任。2001年10月10日、ナスダック・ジャパン(現・大証ヘラクレス)上場。2004年3月31日現在のファンド総額は約89億円、投資社数(累計)133社、投資先上場社数7社。



創業理念

真の金融の実現

真の金融とは、本当に資金を必要としている有望な企業に、きちんと「お金を融通する」こと。それをFVCが実現します。

投資哲学

～現場主義～

正しい答えは投資現場にある

speedy

～三方よし～

投資先利益 = 組合員利益 = FVC利益

Win&Win&Win

～一貫した支援体制～

シニアと若手とのペアで担当をし、
投資～育成～回収と一貫した支援体制を組んでいます

*Risk
management*

FVCの特徴

独立系

~ 純粋にリスクとリターンを考慮した
投資意思決定が可能 ~

FVCは社長の川分自らが創業したベンチャー企業です。

財務諸表などが整っていない未公開企業の審査においては、客観的項目だけでは簡単に本質を見誤ってしまいます。親企業から出向しているサラリーマンベンチャーキャピタリストの目利きと、自らも企業を立ち上げ、経営を行っているベンチャーキャピタリストの目利きとは、その精度に本質的な差が存在します。



VC事業の大原則を守る

~ 信頼関係に基づく育成支援、
現場主義、アーリー投資 ~

弊社は若い企業(アーリーステージ)に重点的に投資を行い、経営の支援(ハンズオン)をしていくことで企業価値を高めるという**クラシカル型**のVCです。クラシカル型は、長い時間と大変な手間をかけていく必要があります。当たり前のことをこつこつと日々やり続けることを、FVCは実践し続けております。

京都に本社

~ 将来、日本のシリコンバレーに
なる地で基盤を固める ~

日本国内には200社近くのVCがございいますが、大半は東京近辺に集中しております。一方、関西地域はその経済規模に比べVCの拠点が少なく、投資案件の宝庫です。また、京都という土地柄は日本初のVCが誕生したという地であることから、**象徴的なベンチャーの町**として名実ともに評価されています。そんな京都に、弊社は本社を構えております。

FVCのベンチャー企業投資プロセス

監査法人による
ショートレビュー

新規立案案件につき、
IPOに向けての課題と
財務面のリスクの再確認

発掘

系列の縛りが無い
独立系ならではの
ネットワーク

年間600～800件

審査

投資担当者による
投資案件の立案
初回面談から3ヶ月以上
時間をかけて精査

年間50件程度

投資決定

現場主義
経営者重視の
投資決定

年間25件程度

育成

経営者に密着した
ハンズオン

EXIT

株式公開中心
第三者への
株式売却など

ポートフォリオ
委員会

- > 投資ガイドラインチェック
- > 投資配分諮問
- > ポートフォリオリスク諮問

投資委員会

投資判断の
最終決定機関

ハンズオン
委員会

ハンズオンの月次業
況把握、報告、提案

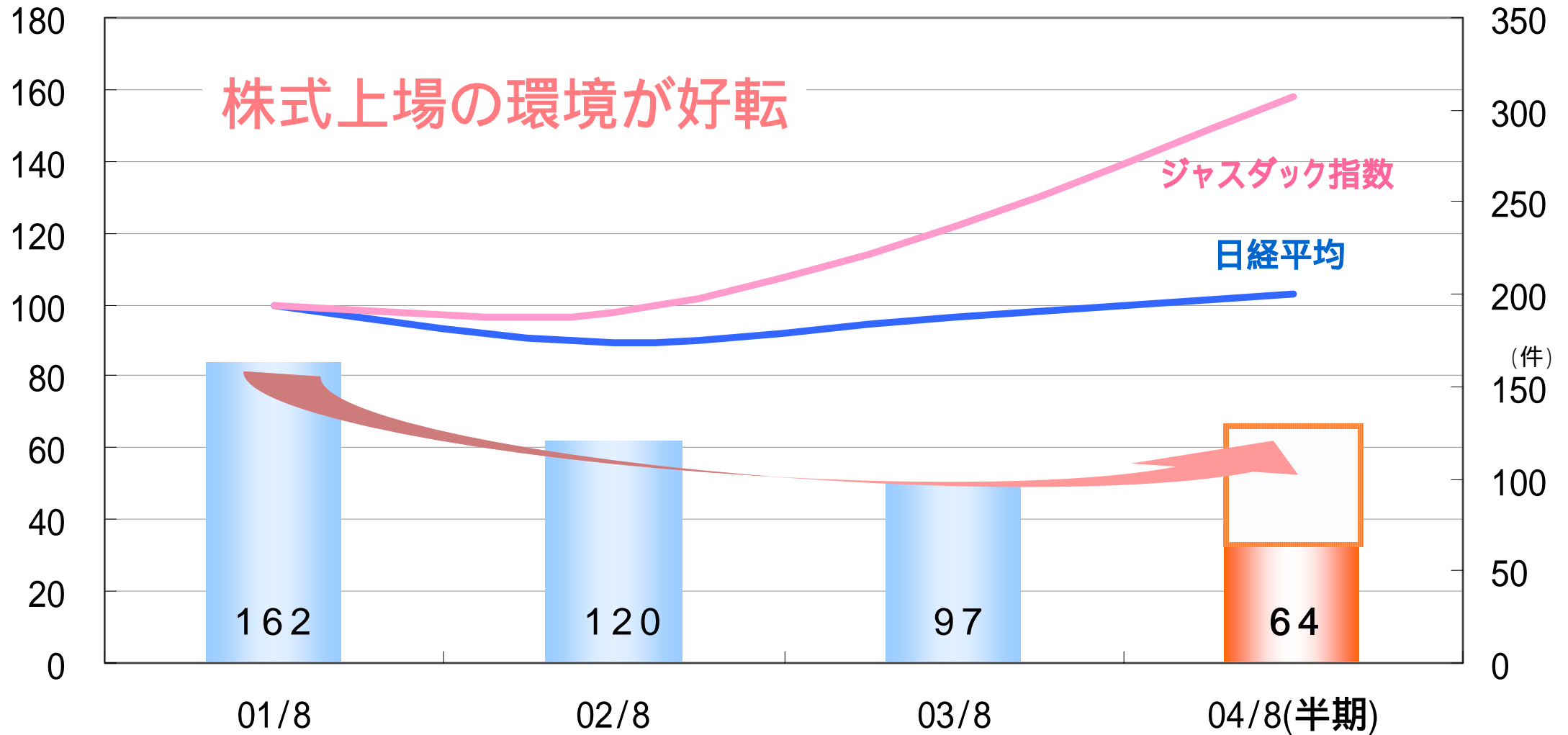
EXIT委員会

EXIT方針の決定

各種委員会との連携

2. 第6期中間決算の概要

《FVC決算期における新興3市場の上場企業数と 日経平均・ジャスダック指数の推移》



(新興3市場: JASDAQ、東証マザーズ、大証ヘラクレス(ナスダック・ジャパン))

(このグラフでの日経平均・ジャスダック指数は、2001年8月末の指数を100とし、各決算期末(04/8は上期末)の指数との変化を取ったものです)

第6期(2004/8月期) 中間決算

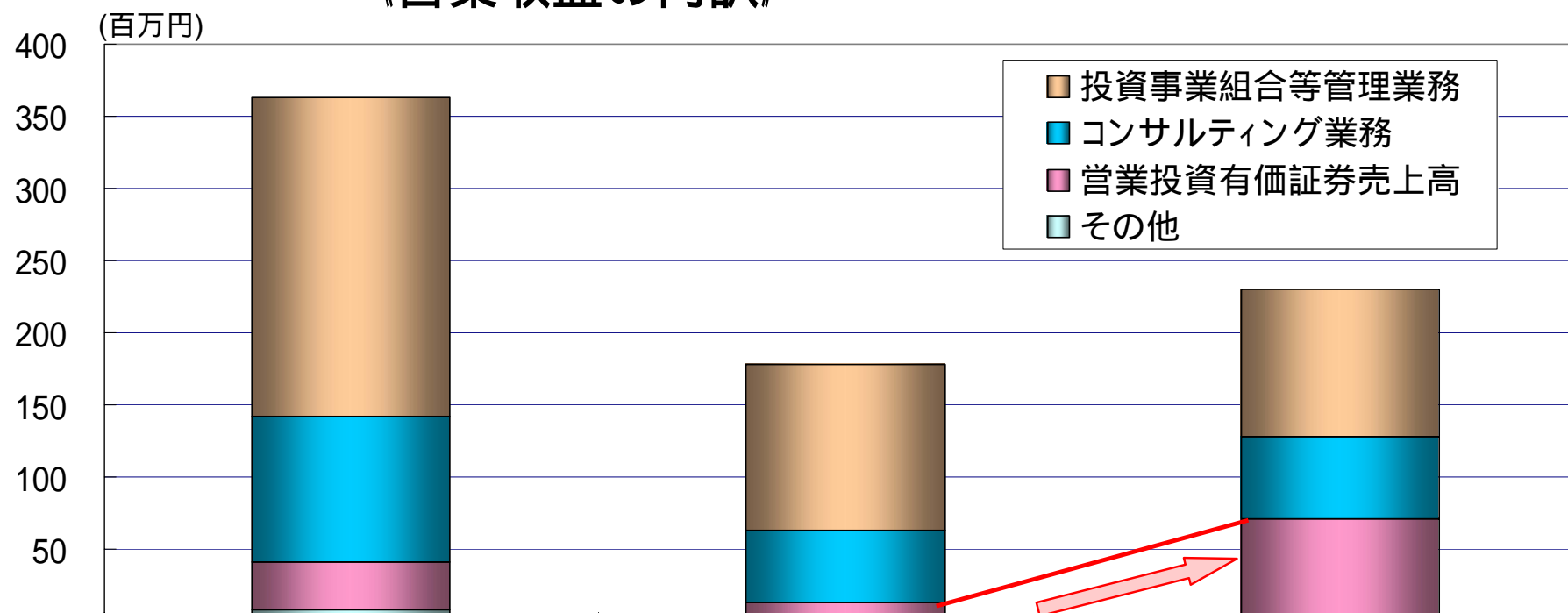


(百万円)

	第5期 (2003/8月期)		第6期 (2004/8月期)
	通期	上期	上期
売上高	362	178	230
営業利益	228	123	36
経常利益	224	120	36
中間(当期)純利益	204	98	38
株主資本	1090	1188	1045
総資産	1748	1857	1747
株主資本比率	62%	64%	60%
営業活動による キャッシュフロー	94	120	77
投資活動による キャッシュフロー	4	4	0
財務活動による キャッシュフロー	163	158	28
現金及び現金同等物の 期末残高	166	135	117

営業収益の内訳

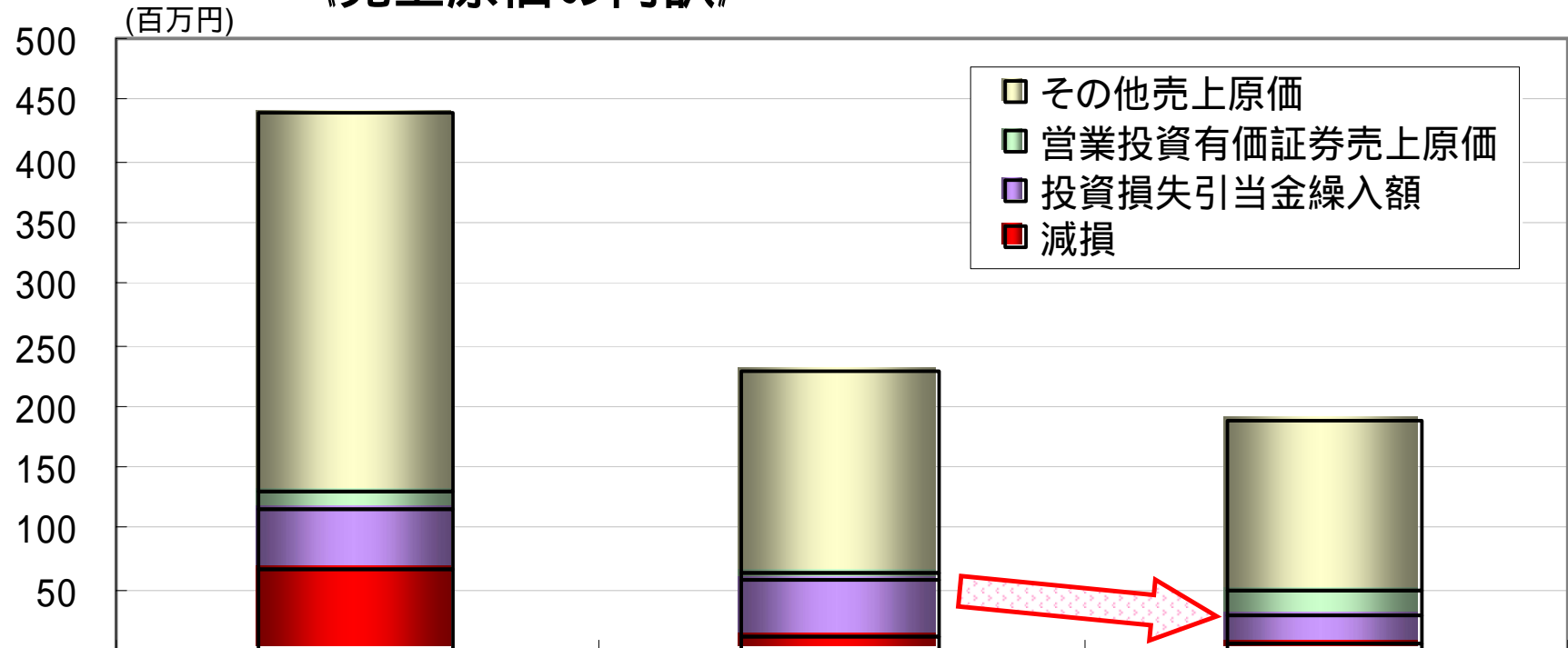
《営業収益の内訳》



営業収益における営業投資有価証券売上高の割合が**前期比6倍増**

売上原価の内訳

《売上原価の内訳》



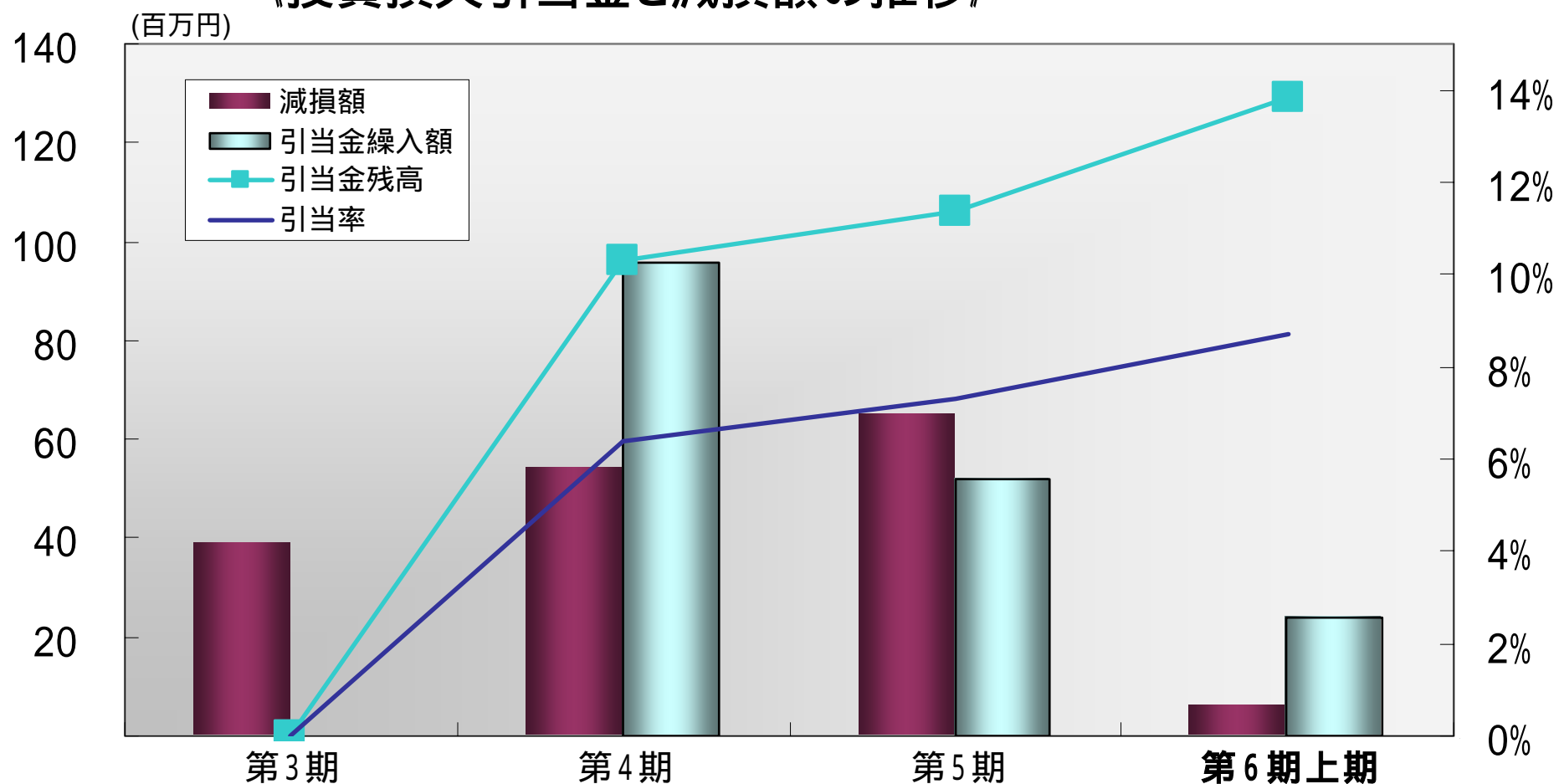
	前事業年度		前上期		当上期	
	金額		金額		金額	
その他売上原価(人件費・経費等)	310	70%	163	72%	139	74%
営業投資有価証券売上原価	14	3%	7	3%	19	10%
投資損失引当金繰入額	52	12%	46	20%	24	13%
減 損 額	65	15%	12	5%	6	3%
計	441	100%	228	100%	188	100%

引当金繰入額・減損額の一巡

売上原価の減少

投資損失引当金と減損額の推移

《投資損失引当金と減損額の推移》



	第3期	第4期	第5期	第6期上期
営業投資有価証券	1,217	1,506	1,455	1,483
引当金繰入額	-	96	52	24
引当金残高	-	96	106	129
営業投資有価証券に対する引当率	-	6.4%	7.3%	8.7%
減損額	39	54	65	6

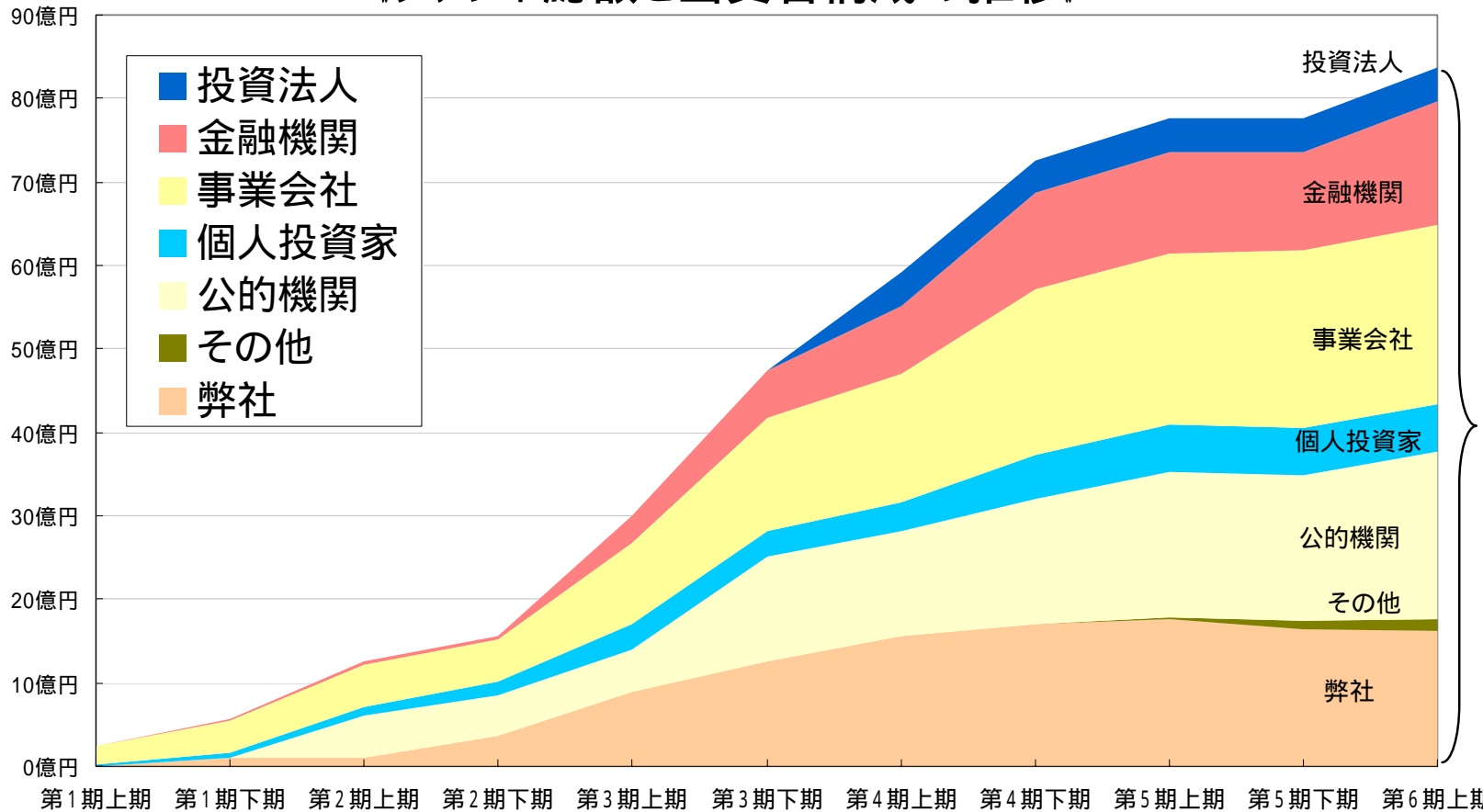
投資事業組合等の概況

当中間会計期間に新たに設立した投資事業組合

みえ新産業創造投資事業有限責任組合 (ファンド額:6.2億円)2004年1月設立

三重県や三重県の事業会社・金融機関等が組合員になっています。

《ファンド総額と出資者構成の推移》

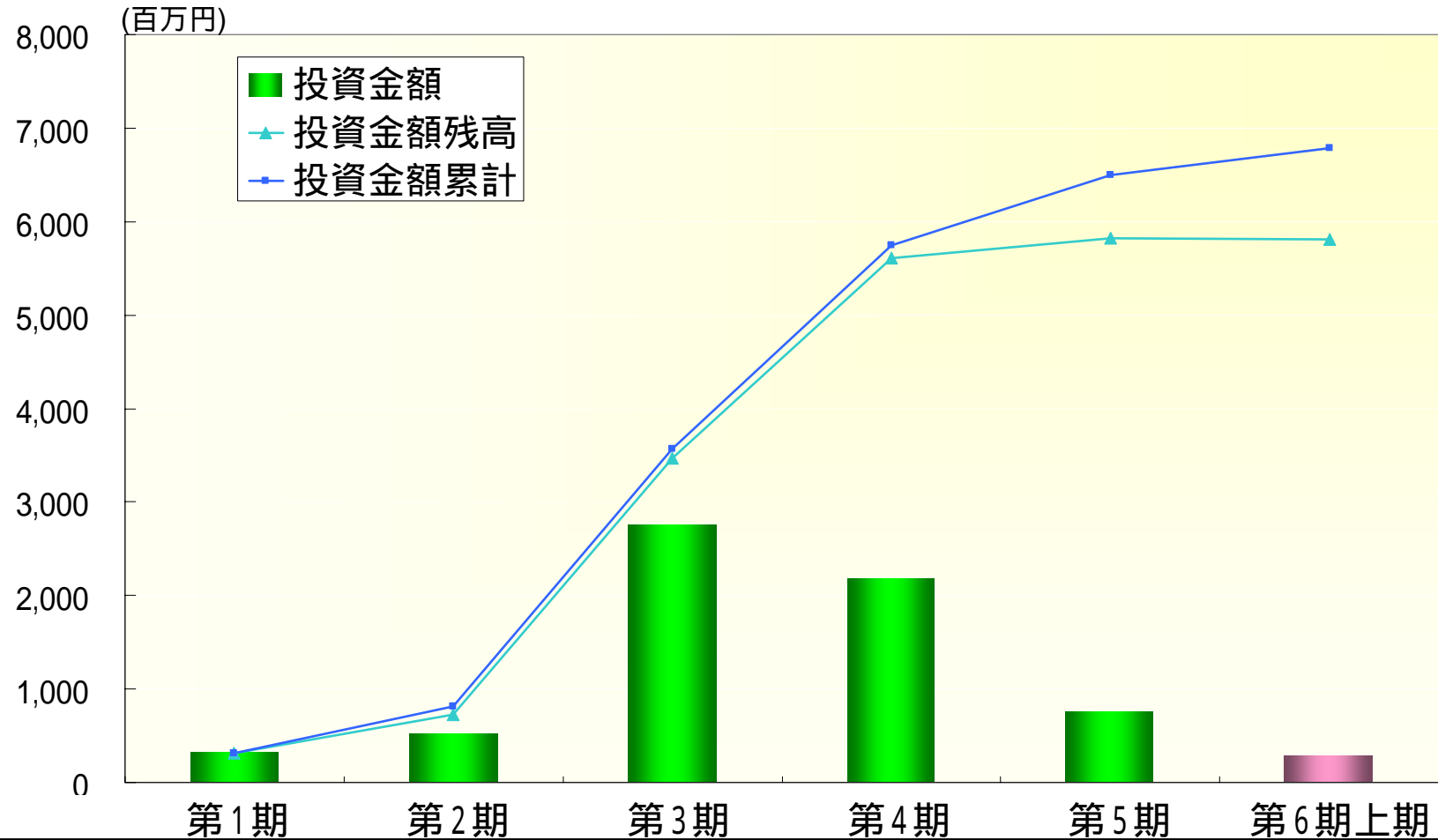


(百万円)	
ファンド総額	8,384
ファンド数	13

ご参考: つくばベンチャー企業育成投資事業有限責任組合(ファンド額:5億円)を2004年3月に設立いたしました。
関東つくば銀行(本店:茨城県土浦市)との二人組合です。

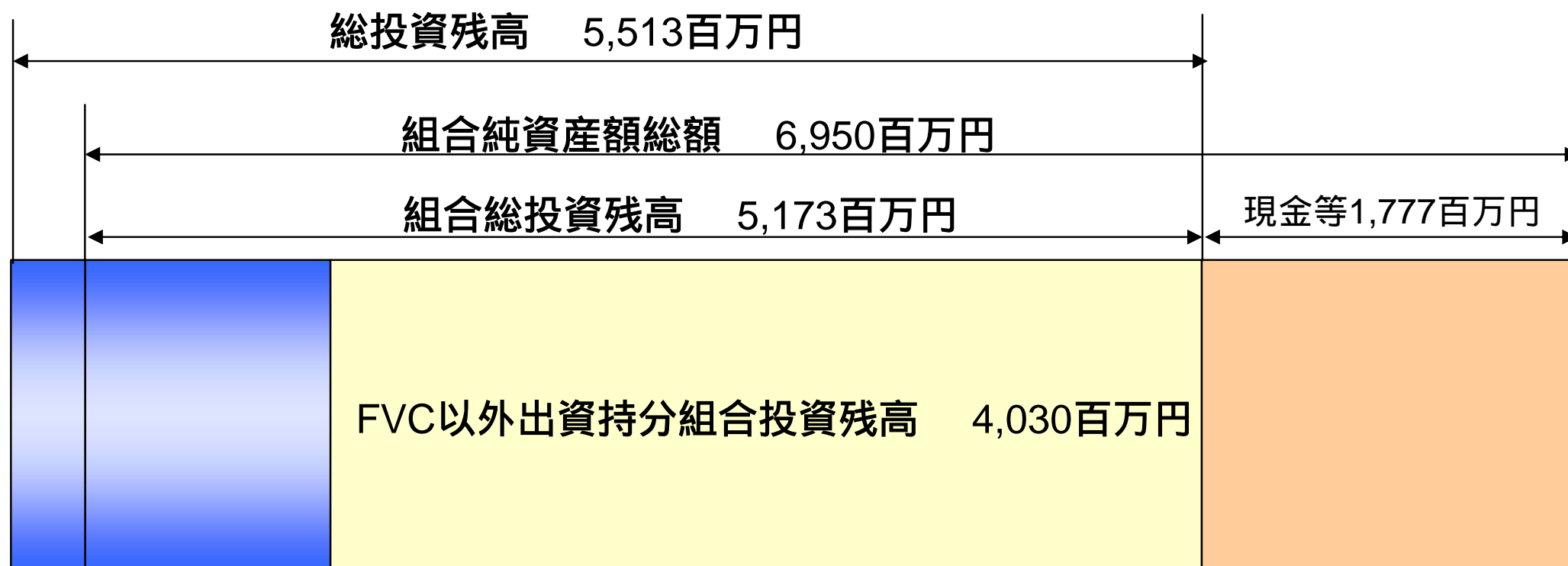
投資金額の推移

第6期上期の投資実行額 **281百万円 11社**



	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期上期
投資金額(百万円)	310	511	2,748	2,178	754	281
投資金額累計(百万円)	310	820	3,568	5,746	6,500	6,781
投資金額残高(百万円)	310	725	3,467	5,607	5,823	5,808
投資先企業数累計	8社	21社	67社	102社	123社	130社

運用資産残高の内訳



**FVC出資持分
組合投資残高 1,143百万円**

FVC本体投資残高 340百万円

2004年8月期中間決算 貸借対照表
営業投資有価証券 1,483百万円 (+)

経理の関係上、各組合の直近決算をもとに取り込んでいます。そのため、上記数値も各組合の直近決算をもとにしており、2004年2月29日現在の組合の残高とは異なっている場合があります。まだ決算を迎えていない「みえ新産業創造投資事業有限責任組合」については、出資約束金額が全額現金等に含まれています。なお、2004年2月29日時点では、当該組合から投資は行われておりません。

FVC投資先上場企業一覧

当上期に上場した企業

株式会社ケア21
大阪市北区

24時間巡回型ホームヘルプサービス業務、
介護用品・機器の販売、配食サービス等

大証ヘラクレス
2003/10/16

証券コード
2373

投資時期 2000年1月
投資株価 5万円



投資倍率(初値ベース) **12倍**

アーリー投資の結果が出るようになってきた

前期までに上場した投資先企業一覧

	企業名、所在地	事業内容	上場市場、上場日	証券コード
ミドル	ネクストウェア株式会社 大阪府中央区	情報処理に関するコンサルティング システム設計、ソフトウェア開発、SE派遣	大証ヘラクレス 2000/12/1	4814
レイター	株式会社ソディックプラステック 横浜市	合成樹脂加工機械(射出成型機)及び 関連機器の開発、製造、販売	ジャスダック 2001/8/31	6401
レイター	株式会社ジェイホーム 東京都新宿区	高気密・外断熱住宅の販売	ジャスダック 2001/11/28	2721
レイター	株式会社セイクレスト 大阪府淀川区	マンションの企画・販売、不動産の開発及び 売買・賃貸・管理並びにその仲介等	ジャスダック 2001/12/6	8900
ミドル	ビービーネット株式会社 大阪府北区	食を提供する中小専門店に対して 食材・原材料の業種特化型供給	大証ヘラクレス 2002/9/10	2318
ミドル	株式会社モック 愛知県名古屋市	結婚式の2次会・法人パーティーの アレンジ及び結婚式の引き出物の販売	東証マザーズ 2003/10/16	2363

直近5カ年の業績推移 ~ 損益計算書



(百万円)

	第2期 2000/8月期	第3期 2001/8月期	第4期 2002/8月期	第5期 2003/8月期	第6期 2004/8月期(中間)
売上高	136	355	410	363	230
うち投資事業組合等管理業務	52	132	213	221	102
うち営業投資有価証券売上高	8	43	25	33	67
うちコンサルティング業務	75	172	162	101	57
売上原価	52	161	373	520	213
うち減損額	-	39 ¹	54	65	6
うち投資損失引当金繰入額	-	-	31 ²	52	24
販売費及び一般管理費	71	164	195	150	74
営業利益	13	30	158	228	37
経常利益	9	29	160	224	36
当期(中間)純利益	8	25	228	204	38

1 第3期では、「投資事業組合投資損失」として計上しております。

2 第4期ではこのほか、「過年度投資損失引当金累計額」65百万円を特別損失で計上しております。

直近5カ年の業績推移 ～ 貸借対照表 フリーキャッシュフロー



(百万円)

	第2期 2000/8月期	第3期 2001/8月期	第4期 2002/8月期	第5期 2003/8月期	第6期 2004/8月期(中間)
営業投資有価証券	265	1,217	1,506	1,455	1,483
投資損失引当金	-	-	96	106	129
負債	52	213	509	658	702
うち、間接ベンチャーキャピタル制度 を利用	30	135	205	205	304
株主資本	1,222	1,248	1,288	1,091	1,045
自己資本比率	96%	85%	72%	62%	60%
資産合計	1,274	1,460	1,797	1,749	1,747
フリーキャッシュフロー	202	861	626	90	77

間接ベンチャーキャピタル制度

自治体のベンチャー支援財団が民間ベンチャーキャピタルに投資原資を預託し、間接的にベンチャーへの投資を行う制度。投資は新株予約権付社債で行われます。ベンチャー支援財団は預託した投資原資の7割を債務保証します。

3. 參考資料

(参考資料) ファンド一覽



(2004年2月29日現在)

組合名	組合設立日	組合解散日	ファンド総額 (百万円)	特色
フューチャー一号投資事業有限責任組合	1998/11	2003/11	250	日本初の投資事業有限責任組合
フューチャー二号投資事業有限責任組合	1999/06	2009/06	1,000	中小企業総合事業団が初めて民間VCに出資
フューチャー三号投資事業有限責任組合	2000/08	2008/08	1,250	「特定投資事業組合」の確認を受けたファンド
フューチャー四号投資事業有限責任組合	2001/07	2009/07	1,150	「特定投資事業組合」の確認を受けたファンド
フューチャー五号投資事業有限責任組合	2002/01	2010/01	720	「特定投資事業組合」の確認を受けたファンド
フューチャー六号投資事業有限責任組合	2002/07	2010/07	140	

地元密着型地域ベンチャーファンド

石川県ベンチャー育成投資事業有限責任組合	2001/02	2011/02	1,500	地方の自治体ファンドでは日本で初めてのファンド
いわてベンチャー育成投資事業有限責任組合	2002/04	2012/04	1,000	東北地域では初めての自治体ファンド
みえ新産業創造投資事業有限責任組合	2004/01	2014/01	620	三重県地元密着型の自治体ファンド(募集中)

特色あるベンチャーファンド

フューチャー・ブイビー投資事業有限責任組合	2001/11	2009/11	410	ベンチャービジネス証券投資法人(大証上場)から出資
フューチャーエンジェル一号投資事業有限責任組合	2002/04	2009/04	84	一口100万円の個人向けエンジェルファンド
京都イノベーション育成投資事業有限責任組合	2002/05	2012/05	60	大学発ベンチャーを投資対象とする産学連携ファンド
関西を元気にする投資事業有限責任組合	2002/07	2009/07	200	「関西を元気にする会」と組成したファンド

(参考資料)

投資担当者人員配置

京都本社
投資担当者 18名

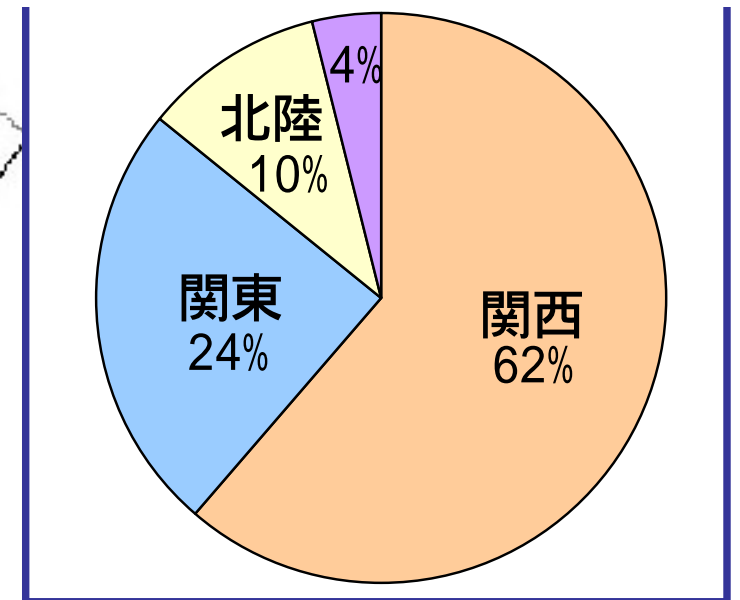
金沢事務所
投資担当者 2名

岩手事務所
投資担当者 3名

東京支店
投資担当者 4名

(ご参考)
三重事務所
2004年4月15日設立
計2名

《投資先地域別ポートフォリオ》



(参考資料) 経営へのコミットメント

➤ 定期訪問

原則、最低月に一回は投資先への訪問を徹底します。定期的に訪問することで投資先の**タイムリーな状況把握**を行うとともに、投資先にとっては**IPO (株式公開) に対する再認識**を促す効果とよい意味での緊張感を生みます。

➤ 決議機関への参加

投資先の役員会・経営会議・営業会議・開発会議等の決議機関へ積極的に参加し、投資先の成長戦略について共に考えることで**将来ビジョンを共有**します。またそれにより投資担当者と投資先の経営陣、従業員の方々との一体感が増します。

➤ アドバイス業務

事業計画・資本政策を始め、組織変革及び教育を含む人事全般、株式公開準備等その他様々な戦略に対してアドバイスをを行います。

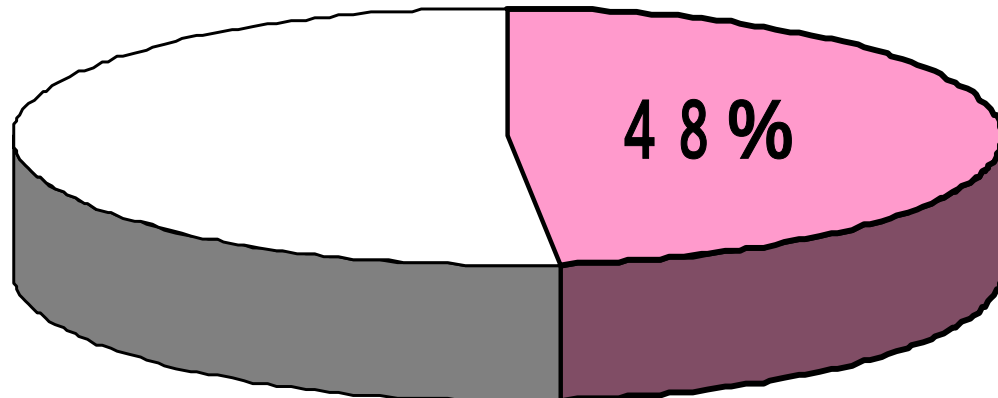
➤ マッチングサービス

販売先・仕入先や提携先、各金融機関(ファイナンシャルアレンジ)、監査法人、弁護士・弁理士、技術評価機関、証券代行・人材紹介会社等、投資先の状況に応じてFVCネットワークを適材適所に紹介します。

➤ 直接業務支援

現場主義の延長上の支援として直接業務支援があります。様々な規定の整備や必要資料の作成及び販促活動・営業活動を支援します。こうした**生きたハンズオン**(支援)の実践は、他の機関にはない差別化の一つであると自負しております。

《リードインベスターとして投資している先》



非常勤取締役派遣社数
18社